

新型コロナウイルス感染症対策⑥ 21. 1. 12～

案

消毒

- ① 登園入室時に一人一人手指消毒(塗布機または大人が消毒液を塗布)
- ② これまでの掃除に加え、施設内消毒(床・机イス・ドア・棚等)を降園後にも行う。バス乗車時も手指消毒を行う。
- ③ 園児が触れた玩具は、午睡時(エンジェルのみ)と降園後に消毒
- ④ 園児が口にした玩具はその時点で消毒(可能な範囲で)
- ⑤ 職員は消毒液を身近に置き、自身のこまめな手指消毒に努める。
- ⑥ 朝の園児が少ない時間等には、可能な範囲で施設内消毒を行う。

手洗い

- ① 外遊び後、トイレ後、食前、おやつ前には「あわあわ手洗い」と手指消毒を行う。(ペーパータオルを活用)
- ② おむつ交換や嘔吐物処理等をした職員は手洗い、消毒

コロナウイルスは、唾液より便からの方がより長期間(4週間)、多量に排出される。

換気・湿度管理

- ① 常に対角線上の窓を2箇所、5～10cm開けて換気
- ② 湿度40～60%に保ち(濡れタオルも有効)、オゾン発生装置も併用
- ③ 園児・職員ともにこまめな水分補給(1時間に1～2回)

換気優先。湿度が上がらない時は、こまめな水分補給で咽頭部の乾燥を防ぐ。

飛沫感染予防

- ① マスク：職員は成人との会話
時は着用。未満児保育中は状況に応じて。園児は以上児の希望者のみ。年長児は徐々に着用慣れさせていく。(運動時以外)
- ② 以上児・職員は対面飲食を避け、食事時のおしゃべりも控える。

幼児期は呼吸機能の発達や体調の異変を訴える能力に個人差が大きいことから、一律にマスク着用を強制しない。